

品質管理委員会「定例委員会」議事録

1. 日 時 2025 年 7 月 15 日(火) 14 時 00 分～16 時 10 分
2. 場 所 コーセル株式会社 立山工場
3. 出席者 舟木委員長はじめ委員・担当者合わせて 30 名 (事務局) 北野、安田
4. 内 容

＜企業見学会＞

はじめに会社紹介を聞いた後、立山工場を見学した。その後、品質保証の取り組み事例「製造現場における品質管理の強化～I P Q Cによる対応～」として、初品検査、中間検査、最終検査の取り組み、工程循環の運営、Q Cパトロールの運用について説明をいただいた。また、D Xへの取り組み事例として、生産革新活動概要、C S Fコンセプト、稼働監視システム活用設備について大変わかりやすく説明をいただいた後、活発な意見交換を行った。

＜定例委員会＞

4 月より当委員会委員長が谷川委員長から舟木委員長に交代となった旨を報告。

(1) 舟木委員長挨拶

20 年ほど前から製造を見ており、異常や不具合は、決してなくなる事はなく、大事なものは気づく感性だと思っている。その中で経験が大事になってくる。Q C活動や統計的な考え方とは、その感性を磨くために非常に有効なものだと思う。当委員会は、品質経営の重要な考え方や取り組みを学び、企業価値向上のために必要な組織能力を学び、共有する事が目的と認識しており、各企業様の従業員の感性をあげる一助になればと思う。

今年度も定例委員会を中心に、委員の皆様と意見交換をしながら情報を共有し、意義のある活動を進めていきたい。

(2) 役員・委員の就任、交代について (配布資料 1、事務局説明)

＜4 月 1 日交代＞

[副委員長就任]：(株)富山村田製作所 堺井 浩一 氏

[幹事交代]：北陸電機製造(株) 岩嶺 斉久 氏 に代わり 串田 勇生 氏

[委員交代]：協和ファーマケミカル(株) 渡辺 道正 氏 に代わり 荒俣 敦識 氏

[委員交代]：(株)富山村田製作所 堺井 浩一 氏 に代わり 廣田 和香奈 氏

[委員交代]：日本カーバイド工業(株) 野村 太 氏 に代わり 島倉 将和 氏

＜7 月 1 日交代＞

[幹事交代]：北陸電力(株) 河本 竜哉 氏 に代わり 柳瀬 浩之 氏

[委員交代]：武内プレス工業(株) 池口 健朗 氏 に代わり 若杉 聡史 氏

(3) 2025 年度年間事業計画について (配布資料 2、事務局説明)

[委員会活動]

＜幹事会＞

- ・幹事会は、4 月 7 日(月)に今年度の活動について審議した。今後の予定は、11 月 18 日(火)に 2026 年度の活動について審議する。

＜定例委員会＞

- ・定例委員会は、7 月、9 月、12 月、2 月と計画しており、本日は 1 回目の開催となっており、「見学会」と合わせて開催し 30 名の参加をいただいた。今後の予定として、9 月 26 日(金)は「事例発表会」と合わせて開催する。事例発表は、オーアイ工業様、富山村田製作所様にお願い済み。12 月 5 日(金)は、「講演会」・「グループディスカッション(GD)」と併せて開催する。講演会は、デジタルと AI の活用をテーマにインテック様に依頼済み。その後、委員・スタッフを交えたグループディスカッションを開催する。2 月 16 日(月)は、「勉強会」と合わせて開催し、内容については、決まり次第お知らせする

〈県外企業見学研修会〉

- ・10月7日(火)～8日(水)の1泊2日で開催する。1日目は、ダイセル(株)播磨工場の生産管理システムのDX化の取り組みをテーマにした説明と工場見学、2日目は、大阪・関西万博を視察する。

〈会報編集部会〉

- ・1回目を6月20日(金)に開催した。今後は3月の発行に向けて8月、12月、10月、12月、と活動を継続する。

〔講座・セミナー〕

- ・年間16講座を予定し、5講座実施した。定員に満たない講座もあるが、定員を上回る講座が比較的によく順調に遂行している。今後の予定は、7月29日(火)、30日(水)の「なぜなぜ分析力活用セミナー」基本コースは、A日程、B日程と2回計画をし、両日程とも定員を上回り満員、8月28日(木)のブラッシュアップコースも満員となっている。今後開催の講座・セミナーについても開催月の2ヶ月前に募集開始をするので、委員の皆様には受講対象の方のご派遣をお願いしたい。
- ・今年度、県のプロポーザルに参加し「品質・生産性向上のための課題解決支援研修」を当協会品質管理委員会で3年間継続して委託運営する。今年度は、8月5日(火)～2026年2月27日(金)の間の18日間、定員16名で開催する。

以 上